

TOTO

フリースタイル手すり

EWT3型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1






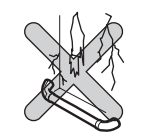



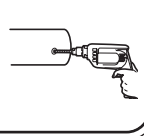
安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| 表示 | 意味 |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。 |

| | |
|--|---------------------------------------|
|  | は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。 |
|  | は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。 |

| 警告 | | |
|---|--|---|
|  | 屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品および手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 |  |
|  | 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 |  |
|  | 必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の 下地材に取り付けるか、別売の後付け補強板を設ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使 用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 |  |
| | 必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用され る方が転倒し、けがを おそれがあります。 | TOTO指定  |
| | 十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける 下地に十分な厚み・補強がなく、各下地の指定取付方法を守らないと、手すりが外れたり、壁が壊れたり して使用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 | 補強  |
| | 取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 |  |
| | ブラケット・木棒の固定ねじは、必ず適切な下穴をあけてからねじ込む 取り付けが不安定となり使用される方が転倒し、けがを おそれがあります。 |  |

2 取り付け前に

取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。
- 間柱に固定する場合は、壁裏センサーやブッシュ式針などを使用して間柱の位置を確認し、確実に手すりを間柱に固定するようにしてください。また、間柱が腐食していないことを確認してください。
- 屋外や浴室などの水がかかったり湿気が多い場所、水没する場所には取り付けない**でください。変色や変形のおそれがあります。
- コンクリート下地へ取り付ける場合は別売の固定金具(樹脂プラグ)を使用してください。固定金具の必要セット数は「**3** 固定金具(別売品)」を参照してください。
- 手すりは手すりの軸に対して垂直に切断してください。斜めに切断すると取り付けできない場合があります。

3 固定金具(別売品)

<固定金具一覧表>

| | | | |
|----|---------|----|--|
| 品番 | T110D29 | 形状 |  φ5×25 |
| 名称 | 樹脂プラグ | | |
| 入数 | 20個 | | |

<対象製品と使用本数>

| 商品品番 | 本数 |
|--------|-----|
| EWT3A型 | 6本 |
| EWT3B型 | 10本 |

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

<EWT3A型>

| 部品 | 手すり部 | エンドホルダーカバー | 壁固定ねじ |
|----|---|---|--|
| 図 |  |  |  なベタッピンφ4×40 |
| 数量 | 1個 | 2個 | 6本 |

<EWT3B型>

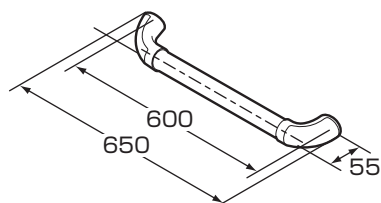
| 部品 | 横手すり部 | 縦手すり部 | エンドホルダーカバー | コーナーホルダーカバー | 壁固定ねじ | 木棒固定ねじ |
|----|--|---|---|---|--|--|
| 図 |  コーナーホルダー(注) |  |  |  |  なベタッピンφ4×40 |  なベタッピンφ4×20 |
| 数量 | 1個 | 1個 | 2個 | 1個 | 10本 | 1本(注) |

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

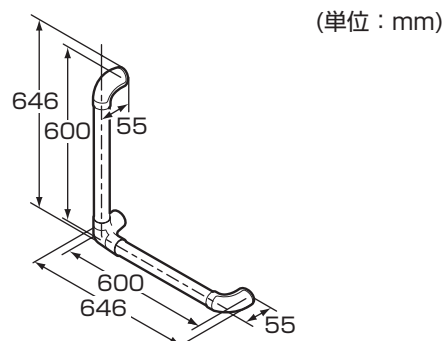
(注)イージーオーダー品の場合、コーナーホルダーは別梱包となり、木棒固定ねじが2本となります。

5 完成図

EWT3A型



EWT3B型



(単位：mm)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

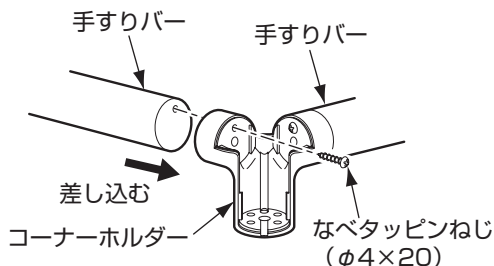
裏面へつづく

6

部材の組み立て

L型手すり部分の組み立て

手すりバーをコーナーホルダーに差し込み、木棒固定ねじで固定する。

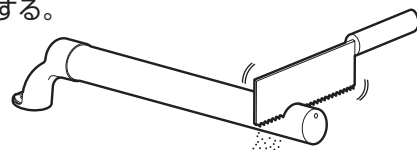


※イーザーオーダー品の場合、2本の手すりバーをなべタッピンねじ(φ4×20)で固定してください。

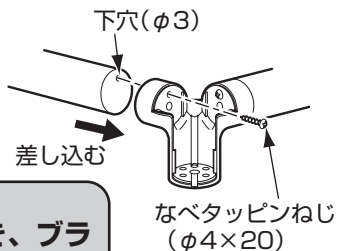
手すりの切断

手すりを現場で必要な長さにカットできます。

①手すりを切断する。



②切断後、手すり端面にブラケット固定用の下穴(φ3)をあけ、木棒固定ねじで固定する。



注意

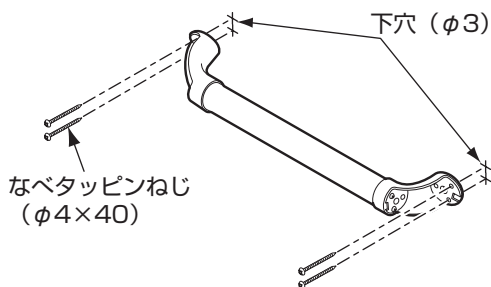
手すりを固定するとき、ブラケットの壁固定面がずれないようにしてください。

7.1

手すりの取り付け

木下地：タッピンねじ固定の場合

- ①事前に補強木を取り付ける。
- ②心出しをしたあと、φ3mmのタッピンねじの下穴をあける。
(タイル壁の場合は、タイル部のみφ5mmの通し穴をあけてください)
- ③壁固定ねじで固定する。



警告

φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができず、手すりが外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

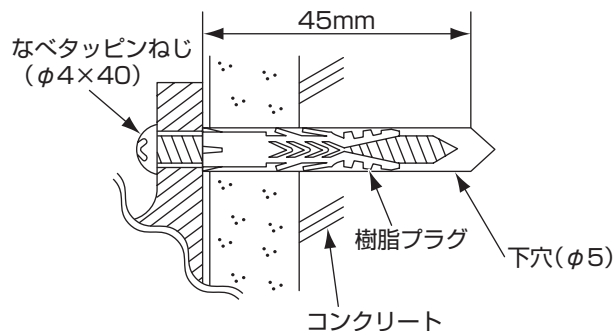
必ず実行

タッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木やタイルなどを破壊しないように注意する

壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

コンクリート下地：プラグ固定の場合

- ①心出しをしたあと、φ5mm、深さ45mmの樹脂プラグの下穴をあける。
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。
- ③壁固定ねじで固定する。



警告

φ5mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができず、手すりが外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

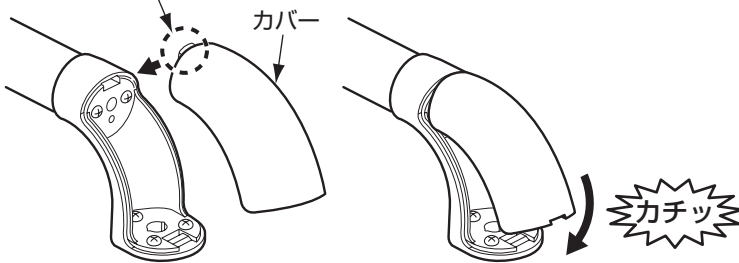
必ず実行

7-2

④ブラケットにカバーを取り付ける。

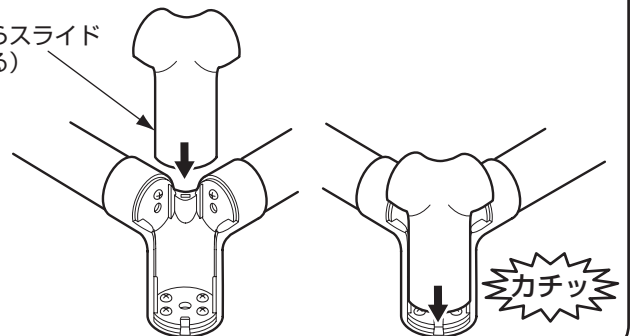
■エンドホルダー

(突起がある方から)
先に差し込む。



■コーナーホルダー

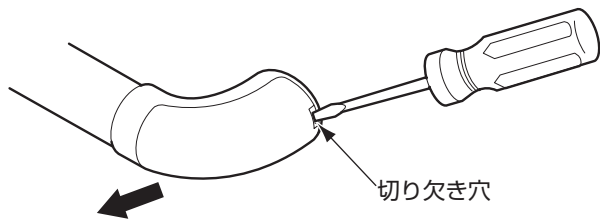
カバー
(上からスライド
させる)



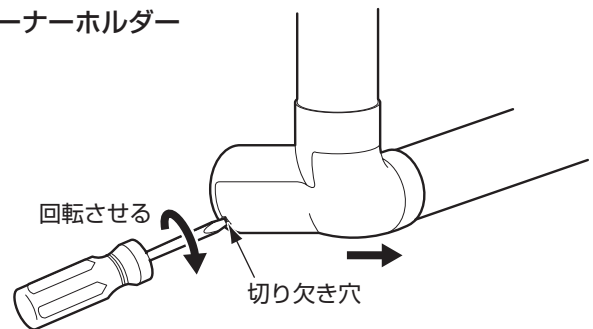
8 カバーの外しかた

ブラケットのカバーを外す場合は、切り欠き穴にマイナスドライバーを差し込み引き抜く。
このとき、部品に傷が付かないように注意してください。

■エンドホルダー



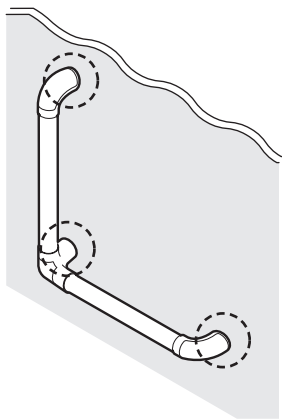
■コーナーホルダー



※品番によっては、カバーの突起や切り欠き穴の位置が異なりますので、ご注意ください。

9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

➡ **6** 「部材の組み立て」参照

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ **7** 「手すりの取り付け」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。